

すずかけ

学校便り 10月号
令和元年10月29日
掛川市立第二小学校

教育目標 『夢に向かって自分を磨く子』 重点目標 『やさしく伝え合おう 進んでやろう』

文責：校長 岡本敦子

覚悟が子どもを成長させる ～キラリ！ふれ合いコンサート～

10月25日（金）、生涯学習センターで行われた『キラリ！ふれ合いコンサート』に4年生が学校の代表として素晴らしい姿を見せてくれました。

舞台上上がった時の明るい表情、きびきびした動きが光りました。全員で心を一つにしテンポを合わせようとした「音のカーニバル」。強弱と伸びやかな高音で勇気をもつ大切さを心に訴えかけた「ゆうき」。聴く人に感動を与えてくれる2曲でした。



週初めに学校で壮行会を行いました。本番までの2日間で歌のレベルが格段に上がっていたことに驚かされました。壮行会の後、担任は子どもたちに「自信をもたせること」と「更なる目標」という魔法を掛け、心のバクトルを本番に向けて一つにしたそうです。

子どもと接していると、子どもの年齢に関係なく、突然子どもを頼もしく感じたり、大人びた表情に出会ったりすることはありませんか。そんな時は、子ども自身の目指す目標が明確だったり、信頼のおける人に自信と少しだけ負荷をかけられたりした時です。4年生の子どもたちも『キラリ！』を通じてそんな経験をすることができたのだと思います。これまでの御支援、ありがとうございました。

東大生もゲームはするが、使い方は活用が目的！

10月7日（月）、掛西中でPTA研修会が開催され、岐阜大学教授の近藤真庸氏により『子どもの自己肯定感UP！生活習慣作りと学習法』という演題で講演を伺いました。
＜ポイント1＞

学習した知識を脳に貯蓄させるためには？

- ① 学習の後に友達と問題を出し合う等、知識をアウトプットする。
- ② 寝る前にもう一度アウトプットする。
- ③ テレビ、パソコン等のブルーライトは就寝1時間前にシャットアウト。
- ④ 食事は就寝2時間前には済ませる。


質のよい眠りが、学習したことを
脳に蓄積させる。

＜ポイント2＞

スマホとの出会いは遅い方がよい！

東大生もゲームはする。でも時間はたった15分程度。2時間勉強しては15分ゲーム、また勉強してはゲームを繰り返す。実は、ゲームをしている時は、脳は全く働かず、休みの状態である。東大生は、勉強でフルに使った脳を休ませるためにゲームを活用するという。

脳が急激に成長する幼児期に、ゲームによって脳を休ませる状態が長時間続いたら、恐ろしいことになる。ゲームより運動で脳に刺激を！

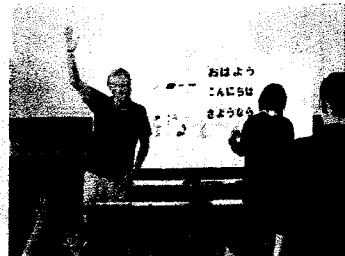
充実の秋



1年生「生活科 リース作り」ボランティアの方にも手伝っていただきました。



2年生「生活科 乗り物探検」天竜浜名湖鉄道に乗って掛川駅に行きました。



3年生「福祉体験」耳が不自由な方の生活の工夫を学びました。



4年生「キラリふれあいコンサート壮行会」当日は全力で心を込めて歌います！



5、6年生「市音楽支援事業」オーケストラと一緒に音楽を楽しみました。



6年生「ラグビーワールドカップ観戦」外国の文化に触れて新たな発見がありました。

特別支援教育だよ！5

特別支援コーディネーター 松浦 崇

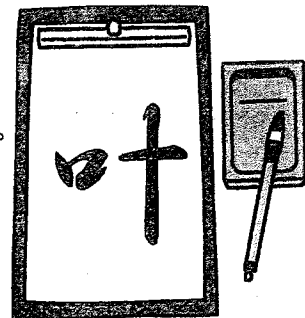
子どものちゃんとできないところが目について、ほめたいんだけど叱ってばかりということがあります。声を掛けないと片付けができない。遊びが終わらず、なかなか宿題に取り組めない。何をしても時間がかかる。のんびりしていたり、途中で他のことをやり出したり、集中が続かない。文句を言ったりいやいやながらやったりする。素直に、自分から、てきぱきと動いてくれば、どんなにかほめてあげられるのに、と思います。

でも見方を変えれば、「言われればする」、「時間はかかるがする」、「いやいやながらもする」ということもできます。「する」

「やっている」ということに対して、認めたりほめたりすることができると思います。また、当たり前のこととして毎日やっていることも、ほめてあげられるところです。

ある方からこんな話を聞きました。「誰でも口からマイナスなこともプラスなことも吐く。だから【吐】という字は、口と+と-でできている。でも、マイナスのことを言わなくなると、-が消えて【叶】という字になんだよ。」と。なるほどと思いました。

プラスの言葉で、子どもたちを励ましていきましょう。



静岡県自転車条例

10月1日から自転車保険の加入義務化が施行されます。自転車の乗る人全て（児童も）が対象です。御確認下さい。